



# アクセスベースの列挙による共有のフォルダの セキュリティを提供する ONTAP 9

NetApp  
December 20, 2024

# 目次

アクセスベースの列挙による共有のフォルダのセキュリティを提供する .....	1
アクセスベースの列挙による共有のフォルダのセキュリティの概要 .....	1
SMB共有でのアクセスベースの列挙の有効化または無効化 .....	1
Windowsクライアントからのアクセスベースの列挙を有効または無効にする .....	3

# アクセスベースの列挙による共有のフォルダのセキュリティを提供する

## アクセスベースの列挙による共有のフォルダのセキュリティの概要

Access-Based Enumeration (ABE；アクセスベースの列挙) がSMB共有で有効になっている場合、共有内のフォルダまたはファイルに（個人またはグループの権限制限により）アクセスする権限がないユーザの環境には、共有自体は引き続き表示されますが、その共有リソースは表示されません。

従来の共有プロパティでは、共有内のファイルやフォルダの表示や変更を許可するユーザ（個人またはグループ）を指定できます。ただし、権限のないユーザに対して共有内のフォルダやファイルを表示可能とするかどうかを制御することはできません。この状態だと、共有内のこれらのフォルダ名またはファイル名に、顧客名や開発中の製品などの重要な情報が記述されている場合に問題になることがあります。

ABEでは、共有プロパティが拡張され、共有内のファイルやフォルダの列挙も対象になりました。このため、ABEを使用すると、ユーザのアクセス権に基づいて共有内のファイルやフォルダの表示をフィルタリングできます。つまり、共有自体はすべてのユーザに表示されますが、共有内のファイルやフォルダは指定したユーザに対して表示または非表示にすることができます。ABEを使用すると、職場の機密情報を保護するだけでなく、大規模なディレクトリ構造の表示を簡素化して、すべてのコンテンツにアクセスする必要がないユーザにメリットを提供できます。たとえば、共有自体はすべてのユーザに表示されますが、共有内のファイルやフォルダは表示または非表示にできます。

詳細はこちらをご覧ください ["SMB / CIFSアクセスベースの列挙を使用する際のパフォーマンスへの影響"](#)。

## SMB共有でのアクセスベースの列挙の有効化または無効化

SMB共有でAccess-Based Enumeration (ABE；アクセスベースの列挙) を有効または無効にすると、ユーザにアクセス権限のない共有リソースが表示されることを許可または禁止できます。

### タスクの内容

デフォルトでは、ABEは無効になっています。

### 手順

1. 次のいずれかを実行します。

状況	入力するコマンド
新しい共有でABEを有効にする	<code>`vserver cifs share create -vserver vserver_name -share-name share_name -path path -share -properties access-based-enumeration`</code> SMB共有の作成時に、追加のオプションの共有設定および追加の共有プロパティを指定できます。詳細については、コマンドのマニュアルページを参照して <code>`vserver cifs share create`</code> ください。
既存の共有でABEを有効にする	<code>`vserver cifs share properties add -vserver vserver_name -share-name share_name -share -properties access-based-enumeration`</code> 既存の共有プロパティは維持されます。ABE共有プロパティは既存の共有プロパティリストに追加されます。
既存の共有でABEを無効にする	<code>`vserver cifs share properties remove -vserver vserver_name -share-name share_name -share -properties access-based-enumeration`</code> その他の共有プロパティは維持されます。ABE共有プロパティのみが共有プロパティのリストから削除されます。

2. コマンドを使用して、共有設定が正しいことを確認し ``vserver cifs share show``ます。

#### 例

次の例は、SVM vs1上のパスで「sales」という名前のABE SMB共有を作成します `/sales`。共有は、共有プロパティとしてを使用して作成され ``access-based-enumeration``ます。

```

cluster1::> vserver cifs share create -vserver vs1 -share-name sales -path
/sales -share-properties access-based-
enumeration,oplocks,browsable,changenotify

cluster1::> vserver cifs share show -vserver vs1 -share-name sales

                Vserver: vs1
                Share: sales
CIFS Server NetBIOS Name: VS1
                Path: /sales
                Share Properties: access-based-enumeration
                                oplocks
                                browsable
                                changenotify
                Symlink Properties: enable
                File Mode Creation Mask: -
                Directory Mode Creation Mask: -
                Share Comment: -
                Share ACL: Everyone / Full Control
File Attribute Cache Lifetime: -
                Volume Name: -
                Offline Files: manual
Vscan File-Operations Profile: standard

```

次の例は、「data2」という名前のSMB共有に共有プロパティを追加します access-based-enumeration。

```

cluster1::> vserver cifs share properties add -vserver vs1 -share-name
data2 -share-properties access-based-enumeration

cluster1::> vserver cifs share show -vserver vs1 -share-name data2 -fields
share-name,share-properties
server  share-name share-properties
-----
vs1     data2      oplocks,browsable,changenotify,access-based-enumeration

```

#### 関連情報

[既存のSMB共有に対する共有プロパティの追加または削除](#)

## Windowsクライアントからのアクセスベースの列挙を有効または無効にする

SMB共有に対するAccess-Based Enumeration (ABE ; アクセスベースの列挙)

をWindowsクライアントから有効または無効にすることができます。これにより、CIFSサーバに接続することなく、この共有設定を行うことができます。



この `abecmd` ユーティリティは、Windows ServerおよびWindowsクライアントの新しいバージョンでは使用できません。Windows Server 2008の一部としてリリースされた。Windows Server 2008のサポートは2020年1月14日をもって終了しました。

#### 手順

1. ABEをサポートするWindowsクライアントで、次のコマンドを入力します。 `abecmd [/enable | /disable] [/server CIFS_server_name] {/all | share_name}`

コマンドの詳細については `abecmd`、Windowsクライアントのマニュアルを参照してください。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。